



別府ゆうきくん

枕崎市立別府中学校
令和2年5月20日

地域に支えられ

校長 竹下 誠

連休明けの今月7日から学校が再開されました。2度の臨時休業や春休みがあり、家庭で過ごすことの多かった子どもたちは、生活リズムをうまく整えることができなかつた面もあるのでしょうか、先週あたりまではなんとなくピリッとしなない雰囲気もあり心配しましたが、今週に入り次第に改善されてきたように思います。全国的には感染症の感染者数も減少傾向にあり、完全に終息することは難しいとは言われていますが、できるだけ早く通常の生活に戻ることを祈るばかりです。

さて、本校の図書館には、「積山武光文庫」という書架が置かれたコーナーがあります。俵積田にお住まいの積山武光さんから、平成11年から20年にわたり毎年、図書購入のための寄付をいただいております。購入させていただいた本は既に205冊にもなっています。図書だよりでも紹介させていただきましたが、子どもたちからは「たくさん本を寄付してくださりありがとうございます。」「おもしろい本や感動する本を読んでいこうと思います。」「寄付して下さった本で楽しい3年間になりました。」など、感謝の言葉が寄せられています。これまでに積山文庫の本で知識を深め、心豊かに成長して本校を巣立っていった子どもたちも数多くいるだろうと思います。

20年もの長い期間にわたり寄付を続けることは容易なことではなく、本校の子どもたちに対するあたたかい思いに深く感謝するばかりです。

この他にも、本校では地域のよさを生かした特色ある教育として、茶摘み体験学習や農業体験学習などを取り入れています。これらも地域の方々のご協力がなければできない取り組みであり、まさに地域に支えられている学校と言えます。子どもたちが、いずれは何らかの形で自分たちの後輩や地域に恩返しできるような人として成長できるように、教育活動の充実をめざしていきたいと思っております。



自粛生活から見えてきた教訓

誰もが経験したことのない未知のウイルス感染症によるパンデミック(世界的大流行)で、我が国だけでなく、世界中の状況が一変しました。

歴史を振り返ると古来から、この日本も自然災害や戦(いくさ)、飢饉などに襲われ、先人たちは何度も人生観や価値観が大きく揺らぎ、変化してきました。そのような大事変に今、現代の私たちが遭遇していることとなります。

自粛モードとはいえ、不自由な生活を強いられ、県総体や学校行事も中止が続き、本音の部分では失意に襲われているかもしれません。しかし、毎日を健康に生きることこそ、今、切実に求められていることです。

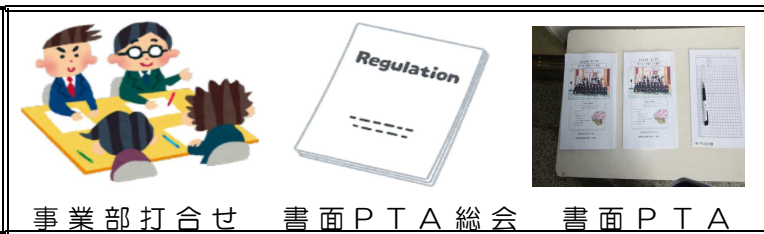
でも健康って言うけれど、体だけ健康を保つことって可能なのでしょうか?仏教で言う「身心一如(しんしんいちにょ)」、つまり、「心と体は不可分であり、一つのものの両面である」という考えがあります。体がなまると、どうしても心もなまると、自分復活に向けたメンテナンスが必要な時です。

人は誰でも、日々頭の中で、自分自身に問いかけ、自分で答えるという作業を繰り返しています。この些細な決断の繰り返し、実はとても重要です。なぜならば、「ほんの些細なことを自分で考え、自分で判断し、自分で決める」ことができない人は、自分に自信を持ってなく、進路や自分の人生といった大きなことも、当然定められないでしょう。一般的に、子どもの時に親が先回りしすぎると、自己決定力が育たない人になってしまうと言われて

います。その経験(自己決定の習慣)が不足したまま成長すると、自分で考えられない、自分や周りの人を大事に出来ない『困った人』になってしまうかもしれません。

別府中学校PTA活動、いつもありがとうございます

最近の3つの活動を紹介します!



事業部打合せ 書面PTA総会 書面PTA

テスト勉強はいつから始めますか?

- ◆ 成績に影響し、大切な振り返りにもなる定期試験。単純に考えて、早い段階から始めた方が焦らず取り組め、内容も定着し、1日の勉強量も無理に増やす必要もなくなります。
- ◆ 家族は「できるだけ長くずっと勉強し続けた方がいい」イメージかもしれませんが、実は、そうとは限りません。
- ◆ 「自分がどれほど集中できるか」「どんな勉強方法が自分に合うか」をまず試し、それを家族にも見てもらおうと、成功に近づきましょう。



[令和2年度PTA役員の紹介]

今年度も活動に御協力をお願いします。

役職名	氏名
会長	中村登志子
副会長	岩下慎矢、豊留みちよ、茅野健一、板敷ひろみ
1年学年委員長	下山直美
2年学年委員長	小城美紀
3年学年委員長	中原みずよ
研修部長	白澤 恵
事業部長	土本 章悟
保体部長	板元 真作
生活指導部長	茅野 満子
家庭教育学級長	俵積田サユリ
おやじの会	茅野 真一
バザー委員長	眞茅 瞳

5月下旬~6月中旬の行事予定

- 5/21(木) 卒業アルバム撮影(3年)
- 5/24(日) 第1回PTA親子奉仕作業 (7:00~小雨決行 中止時はメール連絡)
- 5/25(月) 小中合同職員研修会
- 5/26(火) スマホ・ケータイ安全教室
- 5/31(日) (PTA親子奉仕作業予備日)
- 6/3(水) 3年高校説明会①
市学校保健会理事会・評議員会
- 6/11(木) 3年高校説明会②
- 6/13(土) 土曜授業
- 6/17(水) ~期末テスト前部活動停止期間
- 6/19(金) 市民あいさつ運動
- 6/24(水) ~26(金) 1学期末テスト



いいね! We love Makurazaki いいね!

SNS被害に遭わないため「話し合いと組み合わせ」

- ◆ 自分の子どもが普段インターネットで何をしているのか、どの程度把握しているでしょうか?
- ◆ 警察庁まとめでは、5年連続被害数最多を更新中。しかし、その被害に遭った91.6%がフィルタリングを利用していなかったそう・・・
- ◆ 匿名アカウントを取得できるSNSなら年齢も問われず、子どもが大人に成りすまし、大人が子どもに成りすまします。顔も知らない人とゲームを共有して、いつのまにか信頼関係が出来てしまいます。「ネット上で良い人、悪い人を見分けるのは、大人でも困難」なのです。
- ◆ セキュリティ会社は「フィルタリングも限界がある」と指摘します。考えられる対策としてスクリーンタイムとの組み合わせを提案しています。(※iPhoneのみ)しかし、何といても一番大事なものは、親子間の丁寧な対話であることに間違いありません。

